



▲はじめての県政報告会

▼北海道・東北六県議員交流文芸大会
分科会は「弘前観光打撃」、山形県のみならず、各県での緊急の課題となっており、北海道・東北各府連携して国に働きかけると共に調査研究することが提案されました。



▲女性県議4人の懇談会

交流が通ずる4人だからこそ活発な意見交換に、会場の情緒からは、なせ山形県の女性議員が少ないのかなど質問も多かったです。

▶初めての県議会

バッジをいただいた時は、県議会議員を初めて実感したように思います。お人としての責任の重さを感じ、身の引きしまる思いでした。緊張の多い1日。この日は県議会で選手になってしましました。



▲仙台・宮城「Dofレキヤン」に参加

宮城朝日新聞を先週二朝日大会でした。選挙準備のおまみや中盤分組のママさん達が会場をいそいそ回りまわっており質問も。山形県観光のニーズが変化化する中、先を見据えた積極的な観光PRが必要ですね。
*デジタルマーケティングカンパニー「Dofグループ」が主催した仙台・仙台市の観光客誘致の推進を目的とした交流イベント



▲朝日新聞の記者を前に講演

朝日新聞記者に、朝日朝日紙や読者のためにこの報告させていただきます。選挙後の記者の声を政治に反映させることは選挙さんをはじめ、県民の生活に繋がります。講演の声も聞きはりました。

大内りかの議会報告

Vol.1

ごあいさつ お陰様で、昨年の県議選で、初当選させていただいてから早いもので一年がたちました。14258票という思いがけず多くの皆様からのご支持を頂戴し、本当にありがたい気持ちでいっぱいでした。山形市選挙区初めの女性県議ということもあり、私に対する有権者の皆様のご期待は大いなものを感じ、この一年、私なりに一生懸命努めさせていただきました。正座、無我夢中でした。県政に対する意欲と同時に、とまどいや不安もあり、それを自分の中で解決しながら日々活動してまいりました。皆様のお声を常任委員会、特別委員会、一般質問と、ことある事に反映させてきたつもりです。まだまだ、不勉強ではありますが、この際、一年間の活動をまとめてみました。どうぞ、忌憚のないご意見ご要望を頂戴し、今後の活動の指針にさせていただきますと存じます。

一年を通じて県政に携わり感じたことは、一つは、都市と地方の格差を少しも縮めることが私たち地方議員の責務ではないかということです。高速道路の整備率は5割に満たず、繋がってこそ道が寸断状態、橋梁とのアークスは宮城県のみ、もちろん整備率は東北最下位です。これでは企業の立地もままなりません。社会資本の整備だけではなく、医療や福祉においても格差が広がっています。子どもの医療費は、山形県は原則未就学児は無料ですが、東京都では中学生までが無料です。都市と地方の格差を縮めるために何をすべきか、地方の声を国に挙げていかなければなりません。そして、もう一つは、県民の皆様から信頼される議会にしないといけないということです。飲酒運転や公務調査費の問題は、山形県議会が昨年一年、真摯に向き合い、条例の作成や改正に取り組んできました。県民の代表としてバッジに恥じないよう、今後も県議会のあり方を検討していく必要があると思います。

山積する問題は多くありますが、コツコツ、常に勉強することを忘れては今年も一杯がんばりますので変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。
県議会議員 大内 加



▼災害9月の被害現場へ
局地的な大雨による被害は毎年でありませんでした。これが地域浸透化が進み、今後河川サイクルで災害が起こる可能性があります。河川を堰き切る環境整備に決意を固めなければなりません。



▶災害復旧対策

台風9月の河川は大きく、河川の改修と共に農業用水施設の被害も多く見られました。農業用水施設の災害復旧に際しては急務であることから、今後の課題として目下調査研究中です。



▶防災訓練参加

台風が起った時の体制を目的の訓練に、各町の種別訓練がなされたのを感じました。特に多くの住民の皆さんが参加、見守り下さったことは大変嬉しいことです。
(写真：山形県庁の記録)



※イメージ - 多数の参加者が出た訓練。緊急時によって迅速な対応が求められる。

商工労働常任委員会

- 中国（北京）への現地事務所設置について
北京オリンピックを機に中国の経済の中心は上海、大連から北京に移ると見込まれている。今、中国は日本の食の安全性を絶対的に信頼している。富裕層をターゲットに山形の米や日本酒、果物など風産物輸出の拡大のために北京で事務所を置いて情報収集や人脈を築いていべきかと思うがどうか。
- 「山形セレクション」のブランド戦略について
「ブランド」として山形セレクションを売り込むとき、PRの仕方が重要。県民も観光客もここにまれば山形セレクションが売れるという山形での場所の確保と銀座のショーウィンドウのような展示の仕方も一つの戦略ではないか。
- 中小企業高度化資金の不良債権について
不良債権がなぜ発生したのか。その理由も現在の回収の見通しについても質問。償還期限の長い40年にも経過しているものに対しては何らかの対策が必要ではないか。
- 女性就業促進のための一般事業主行動計画の策定について
計画策定の現状を尋ねると共に、届出後の実施状況を確認するの大切ではないか。

- 働く女性のキャリアアップ事業について
- 若者の就職支援について
- 新しい観光客客の対策について
観光に対するニーズが変化している中、県としてどのような対応を行っているか。外国人向けのホームページの作成や山形県セレクトの観光分野の検討状況はどうなっているのか。
- 観光のスキー観光客客について
他県の状況を分析すると、スキー場に託児所の設備が必要と考えられるがどうか。
- 仙台空港アクセス鉄道の活用について
仙台・宮城ディスティンションキャンペーン期間中に山形直通の特急列車を運行して観光PRしてはどうか。
- 原産地格差の対策について
農産物もだが、長期的な対策として地球温暖化を見据え、石油以外のエネルギーへの転換を導くことも重要な対策と考えるがどうか。
- 新アンテナショップについて
売り上げと来客数はどのように見込んでいるのか。アンテナショップにある飲食店、銀座という土地柄や山形らしさを中心に十分なマーケティング調査の上で決めてほしい。
- 商店街の空き店舗対策について
●オーストラリア人観光客誘致の対策について
雪質の良いスキー場、温泉、ものづくり、おいしい日本食。オーストラリア人のニーズにあった観光地として山形県は十分な可能性を持っている。効果的なPRに努め、東北は連携して取組むべきではないか。



▲県内視察
マサースパロンにて子育てしながら就業を希望する女性の意見について視察

県外視察

（北海道 平成19年10月9～12日）

視察の主な内容は下記の通りです。

- トヨタ自動車北海道では、自動車関連事業の集積の状況と生産現場の見学
- ▲県外視察（北海道にて）
- 登別観光協会では、観光協会の組織や取り組み、行政と観光振興策について
- ポッシュ観光開発テクノカルセンターでは、会社の概要と企業立地の過程や条件、研究開発の内容とテストコースの見学
- 創価財団と世界ガイド協会では、世界遺産登録までの過程や世界遺産を活用した観光振興策、エコマツリ沼田の推進について
- JR北海道では、デュアル・モード・ビールの試験走行の状況と今後の展開について
- その他

いずれも最先端の企業の取り組みや開発を目の当たりにし、驚きとため息、よい勉強になりました。委員の質問も後を絶たず、時間切れの場面もあって、充実した視察となりました。

私が特に興味を持ったのは、トヨタ自動車北海道の環境に対する取り組みと、登別観光協会の柔軟な組織での活動内容、知床の世界遺産登録後の自然と人間が共存するための今後の課題などです。

視察を終えて感じたことは、現場の声を直接にお聞きすることは本当に重要だということです。インターネットなどで多くの情報がすぐ入手できる時代ですが、生の声も多く聞き、意見交換をすることで、活字からは得ることのできないものが伝わりました。

1年間こんな質問をしました!!

- 中国残留孤児の支援対策について
高齢化する孤児に対する経済的な支援策と同時に、自立研修センターが閉鎖するにあたり、県独自の対応として拠り所であった「場所」の確保を希望したい。
- 男女いきいき子育て応援富商企業登録制度の事業案内について
女性がもっと社会参加の意欲が高まるようにするには、男性と企業の理解、意識改革が重要である。女性に限らず、男性も含めて働きながら子育てができる環境作りが必要ではないか。
- やまがた子育て応援/スポーツ事業について
- 高齢者虐待の対策について
虐待被害の7割が女性。加害者の多くは夫や息子が7割が男性。意識啓発やネットワークづくりの他に、介護に不慣れた男性の支援対策が必要ではないか。また、認知症対策と併せて取組んでほしい。
- 地産口消費コミュニティの再生について



▲中国残留孤児の皆さんと共に

- 高齢者や要援護者（聴覚障がい者など）の災害対策について
災害時に犠牲になるのは、高齢者や障がい者などの弱者であるが、県の災害時要援護者の支援体制はどのようになっているのか。
- 放課後児童クラブについて
いゆる学童保育は、平成22年度から71人を超える等国からの補助が停止される。現在の状況と、今後の県のとの対策をどのように考えているのか。支援内容を県民に周知してほしい。
- 放課後児童クラブと放課後子ども教室との連携の状況について
- 高齢者住宅の耐震対策について
阪神大震災は死者の9割が建物の倒壊によるもの、中越沖地震では被害者のほとんどが高齢者である。高齢者の持ち家の多くが木造であることから、高齢者住宅の新築対策はどう考えているのか。



▲地震による家屋の倒壊

- 増え続ける空き家対策について
県内415000戸のうち約40000戸が空き家である。空き家は地震や火災の際、また、犯罪の場でも危険である。今後増加傾向にある空き家対策をどのように考えているか。

- 元気な高齢者の健康増進対策について
県の公園を高齢者に貸し出して健康増進に役立てているときどき、高齢者が長時間公園を利用するにあたり、トイレは切実な問題である。県の健康の森公園などもグランドゴルフで利用しているがトイレが遠くで困っているときどき、県営都市公園のトイレ対策はどのように考えているか。
- 医療のケアを必要としている子どもたちの支援策について
山形県の対策は他県に比べて遅れている。教育や医療の現場での子ども達の受け入れ態勢、一時預かりなど福祉の分野での支援などの現状と今後の対策をきたい。医療と福祉、教育それぞれで連携して、今後の支援策について協議する場を持つてはどうか。



▲放課後児童クラブの様子

少子高齢化特別委員会

女性の視点を活かして
きのの輝かぬ政策推進を
目指すため

地域間格差と地方税のあり方について

地方税は公益負担といわれますが、平成18年度決算では法人二税の25%が東京都に集中しています。住民一人あたりの税収を本県と比較すると8倍以上の格差があります。一例を挙げると、山形県では未曽有の医療費負担が顕著で、東京23区は江戸川区をのぞいて中学までが無料です。このような格差の原因は、それぞれの地域の経済力だけでなく、制度としての構造的な問題があります。一つは事業費の超過税、もう一つは地方にある大企業や工場が多くが子会社として別法人になっていることです。税財源の確保という点から、このような財政格差の解消を図っていく必要があるのではないのでしょうか。

審判：総務部長

税収格差是正のためには、交付税の増額により財政調整機能の強化をすべきと考えています。

コミュニケーション 教育の理念と実践方針について

石坂教育委員長の医学的観点とアメリカのご体験から来る「C」改革の理念が山形の教育にそのままあてはまることのできるのでしょうか。英語や音楽、武道といった日本古来の精神文化の中で、日本人は心と心を通わせてきたという歴史があり、そのような、人への思いやりや話し合いも日本人として大切なコミュニケーションの一つだと考えます。又、学習指導要領が「ゆとり」から「学力」重視の教育に修正されました。教師の多忙化など学校の体制が取戻されたことで、新たな改革を行うには、国の政策と県独自の改革をきちんと整理した形で進めていってほしいと思います。今後の実践方針は？

審判：山形教育委員長

日本古来の以心伝心による高次のコミュニケーションを否定するものではない。しかし、幼児・児童に対しては、より直感的なコミュニケーションによって彼等の前頭連野にソフトを打つ必要がある。それによって初めて彼等の脳には人を思いやる心が生まれ、日本古来の精神文化を受け入れられる心の準備も出来ると考えています。

審判：山口教育長

教師の多忙化の解消も含めて、教師がやりがいや生きがいをもてるように、学校経営の見直しを進めるのが実践に繋がり進んでいきます。

山形県の「水」環境について

地球温暖化による「水」の問題に全世界が注目しています。温暖化によって引き起こされる多雨・少雨から生じる洪水や渇水などの極端な気象の変化は、これからの私たちの生活に直接かかわってくる大切な課題です。今後の河川の維持管理のあり方と、水を活かしたまちづくりについて質問しました。



初めての 平成19年12月10日 一般質問

山形県の市街地を流れる山形五飯をまちづくりと観光に活かすべきだと考えます。平成18年度に「馬見ヶ崎川水利用連絡会議」が設立されていますが、従来継続行政であった水利用について県や市、国などの関係機関で構成される会議では山形の「水」利用について新たな展望が期待されます。「水」を活かしたまちづくりには大膽なビジョンが必要ですが、本来、まちづくりは市民が主体となることが望ましいと思われ、権利が譲渡されることから、行政が調査・研究の上バックアップすることが重要だと考えます。人を惹きつける街は歩くことのできる街、そして、人が歩く街にはせせがめ効果的だと思っています。

また、県の実業より、県民との協働による河川の整備が行われていますが、地域住民は手をこまねくようなものには、もちろん手厚いサービスも求められたいのではないかと思います。安心安全のための河川の整備が第一ですが、これからは景観を活かした河川の整備も重要ですが、

審判：土木部長

美しい都市は「山水が見事で、景観としても水のあふる風景は絵になるものであり、山形五飯を大いに活用

していくべきと思う。山形市とも十分連携しながら、アイデアを出していきたい。

河川分野においても「道路と同様にライフサイクルコストを念頭に置いて」「長寿命性の考え方」を導入する必要があると考えています。時代に応じて維持管理手法が確立できるよう努めます。

男女共同参画のあり方について

男女共同参画は、選ばず、男女の差別的なものの解消に向けて取り組んでいくという人権上の観点や社会的な背景があることでも事実ですが、今は時代の流れと共に、その捉え方は変わってきているように思われます。

これからは、女性に焦点を絞った政策に加えて、「ワークライフバランス」の推進をとり入れた政策を重視していく時期にきていると思われまます。女性だけでなく、家事や子育ての負担が大きくならないように、男性をはじめ、助け合う家族全員の「仕事と生活の調和」が図られるような環境を作ることが必要ではないでしょうか。そうすることで、自ずと女性を支える社会が前向きなまと思っています。知事のご見解をお伺いいたします。

審判：知事

「ワークライフバランス」の意義や重要性に対する県民の理解を促進し、県民一人ひとりが力を発揮できる土壌づくりを進めていきます。男女共同参画推進を謳わなければならない現在の社会は未だ過渡期であり、近い将来、男女共同参画というコンセプトを改めて意識することの多い社会を構築・実現していかねばならない。

その他の質問

世界遺産登録と県の花「べにばな」について

- 「最上紅花」の生産拡大について
- 構成遺産としての紅花の位置づけと世界遺産登録にかける思いについて



▲撮影して下さった市民と



公約実現!

政務調査費の条例改正



▲若手県議会議にて政務調査費検討

り政務調査費等検討委員会の委員として先輩議員と一緒に一年間検討を重ねてきました。議長に提出された報告書は、2月議会で可決され、4月から新しい条例が施行されております。

報告書は6月から17日にわたって行われた検討委員会でも議論された結果です。途中、外部有識者からのご意見も頂戴しており、他県に比べてもかなり透明性の高いものになっています。県民の皆様にもご理解いただける内容だと自負しています。

多くの検討結果もあり、私は領収書の全額添付を原則とすることになりました。検討委員会としては、県議会議員全員の賛同を得るために、何處も会派に持ち回り、議論を重ねながら進めてきました。

政務調査費の透明性を契機に、県民の皆様から信頼される県議会となるよう一層力を尽くしてまいりたいと思います。



▲政務調査費の報告書

海外行政視察

(オセアニア 平成20年1月25～2月4日)

百園は一見にしかず。日本とオーストラリアのスケールの違いに驚かされ、国民性による政策の違いを目の当たりにして、情報から山形県を盛り上げたいと決意しました。視察内容は、「匠青崎」が違法に海外に持ち出された問題となり、昨年山形県と和解したオーストラリア人が経営するサクランボ畑をはじめ、アワビ養殖や海洋研究の状況、日本に輸出されている牛肉の肥育の状況、世界遺産登録後の観光客受け入れや環境保護対策調査、現地旅行エージェントについて、ニセコをはじめオーストラリア人観光客のニーズ調査と山形県のPR、ジェトロ・シドニーにて日本とオーストラリアの貿易の状況と今後の見通しなど。

いずれにしても、農業、水産業、観光、まちづくり、環境問題、そして、高齢化対策、全てが国民性と教育の違いが大きく影響しており、その感心させられるノウハウを日本にはそのままではめられないにしても、その卓越した技術やアイデア、柔軟なものの考え方を取捨選択して取り入れるべき点が大いにありと感じました。まずは、商工労働観光常任委員会、外国人誘客の戦略について報告を含めて質問させていただきます。



▲ニュージーランド マルボロ市と

地域の皆さんからこんなご質問をいただきました。

Q どうして自民党に入ったの？

A 県議会は会派として活動しており、いずれかの会派に属さないで、情報が入らなかつたり、委員の機会が少なかつたりと思うような議員活動ができません。そこで、会派を決めるのに下記の会派から自民党に入りますことと決めました。

1. 自民党の基本的考え方（安全保障や中小企業を支援していることなど）が他の会派と比べて優れていると一番よく感じました。
2. 山形県議会においては、自民党が多数を占めていますので、私の政策を実現させる、議案を推進させるためには、自民党の賛同がどうしても必要だと考えたからです。昨年この選挙で私は政策調査会に議案書を出し、使途を明確にしてその実現性を高めることが必要だと訴えられました。自民党に入ることによって政策調査会の賛同委員の委員にさせていただきました。自民党の賛同を得られた結果、今年度から、政策調査会の新編議案が実現しました。自民党の賛同を得られた結果、今年度から、政策調査会の新編議案が実現しました。

Q 高速道路によって、通行料金が無料だったり有料だったりするのはなぜ？

A 原則的に高速道路の料金は、税金で整備した道路は無料、旧日本道路公団が整備した道路は有料になっています。例えば、水戸南道路は国土交通省が整備したもので、自費で整備したものというので、一部旧日本道路公団からの有料です。一方、東北新幹線道路は、必要道路はありますが、自費で整備し、利権と税金だけ整備したもので無料です。
これから、「道路修繕方式」として国と地方自治体が整備する道路が増えたいと思います。そういう場合は原則無料です。ちなみに、これらは道路特定方式で整備される予定です。

Q 「子育て応援バスパスポート」ってどこでもらえるの？

A 「やまがた子育て応援バス（スポーツ）事業」では、妊婦や産後2年以内の世帯を対象に、経費がたまらざるサービスを提供する制度です。県民1,305名が申し込みました。バスパスポートの交付については市町村ごとによります。直接送るところもあるれば、窓口に行くと交付してもらえない可能性があります。市町村によっていろいろ事情があることと思われるので、窓口の場合は地域の情報の問い合わせが必要と思われる。



Q 議会のない日は何してるの？

A 議会のない日は、

- 議会のある日 議事録
- 8:30 起床
- 7:00 朝食(焼肉、ヨーグルト、コーヒー、牛乳、旬野菜は旬菜)
- 9:00 県議会出席
議会事務局とリンクチャット
10:00 解任委員会
- 12:10 県議会特別委員会
- 12:40 朝食(カレーライス、サラダ、野菜はピーマンやピーチ)
- 13:00 県議会出席
14:00 企業立派推進事業(4月14日スタート)
- 15:00 災害復旧推進委員会(副会長に専念している様子について報告)
- 18:00 常任委員会委員交代会
- 22:00 帰宅、明日の準備と家事
- 25:00 就寝

■ 議会のないある土曜日

- 7:00 起床
- 8:00 読書(1つと書い)
- 8:00 小学生読書会参加(読書部の会合に出席される。子どもたちの喜びに集中して声援を送り、思わず笑顔になることが多い)
- 11:30 プレジャー/パソコンから作業へ書検
- 12:00 読書(ラノベ、新書)
- 12:30 災害復旧推進(山の上からビデオカメラで、水が溢れていないか、ドローンモリ?)にも及んで対策、新聞社で一部記事を作成して下山)
- 14:00 作業室から読書へ書検
- 14:30 葬式参列
- 16:30 読書からスツへ書検
- 17:00 読書会出席(本人の葬参列いさか感動。山形の心で、東北の心で書検も好評です)
- 19:30 二次会(久しぶりの2人の顔です)
- 22:00 帰宅(原宿は平日よりも静かです)
- 23:00 就寝



りかの

ひとりごと

早朝7時半開演の党の全員の案内が2日に平気でFAXされてくる。多分この時期なら、全員の手配が済んでいるだろうと勝手に思っている。でも、「小さな子どもがいたら大変だろうなあ。」これは母ばかりの世帯だから、誰もそんなこと考えないだろう。議会は会合が多くて、あっさり料理する時間が減った。最近は手配のつかぬ飲み会やしゃべり会を選んで料理すると、15分前後もいじめる。最近の夫が、文句も言わず、食事で選んで夕食でも、家で食べることを嫌がるようになって。いつのまにか洗濯物が干してあった。山形県は女性議員の割合が閣下位だ。それだけ、政治家と家庭の両立はそれほど簡単ではない。家庭の強力は弱くはならない。どんな仕事も大変なことに変わりはないが、勤務時間が決まっているわけでもなく、カレンダー通りに休めるわけでもなく、自分で割り切らなければ休められない。政治家の仕事に押し、よほどの覚悟がなければ女性



A. 山形県議会の議員生活。自宅での自給の野菜も、子育てと政治活動は大きな負担の要素ではない。

は手を挙げない。けれど、生活を苦慮している女性こそ政治の世界で、その体験や感性をいかして政策提言をばしていかないと。続く女性議員のために、女性が手を挙げやすい社会のしくみを築いていくのは私のような女性議員の役目ではない。



山形県のこんな事業知ってますか？

◆高齢者のお宅に耐震アドバイザー派遣 (高齢者住まいの環境あんしん事業)

平成17年7月の耐震仕様で、15名の権利者のうち5名が55歳以上の高齢者で家屋の倒壊によるものとした。そこで、耐震の専門家が家を訪れて行った。50歳以上の高齢者に耐震された。50歳以上の高齢者に耐震を打ち、耐震のうらみ分納費を考慮する。耐震の専門家を「耐震アドバイザー」として派遣する。実際の耐震方法は任意。家具の転倒防止並びに倒壊で危険な工業者を紹介する。2. きののきアドバイザー派遣。

- ◆費用 無料
- ◆申し込み 各自治体建築課 または 市町村建築担当課
- ◆気分はババ、ママ! 高校生の子育て体験事業

地域交流型では、高校生の体験休暇を利用して子育て体験事業を実施しています。一人あたり14日間で、乳幼児とふれあひ体験を通して子どもへの豊かな感情や適切な子育てと共有の少子化対策、児童虐待防止、男女共同参画社会の推進を目指します。昨年男子高校生が応募あり、子ども達も大層おびした。

◆おなまの基盤が地域や社会の発展に立ちます(おなまの基盤事業)

地域や社会のために何かに立ちたい!そんなお考えの個人や企業の方々からの寄付を募集して活動し、その基金を活用してNPOなどの活動資金の確保に活用している活動の事業を実施します。寄付の方法は銀行の窓口が簡単です。変更した団体やテーマを希望することもできます。どんな活動でも支援できる一冊啓発も可能です。支援する団体については、基金推進委員会がNPOのプレゼンテーションを審査して決定されます。

コラム....

山形の紅花がシャネルの口紅に! ~「最上紅花」というブランド~

フランスのシャネルが山形の紅花を使って「シャネル化粧」という化粧品ブランドを発売したことがありますが、紅花の化粧品にもいろいろあって、「最上紅花」というブランド。その昔1000個、金の100個の価値があるとされた紅花です。現在でも、山形県の「最上紅花」は、皇室大元帥や伊勢神宮の宮、東大寺の水取りに使われており、日本の「赤」を守ってきた。その「最上紅花」というブランドに

シャネルが目をつけたのです。日本橋の伊勢神も「小町紅」という口紅を180年間作り続けていますが、山形県産の「最上紅花」がなければ、口紅は製造できないといえます。

その「最上紅花」は戦後、中国産紅花の輸入と化学染料の普及により一度その姿を失いますが、山形県の納税からあつた一報の種を発芽させることとして復活した。今は、山形県紅花生産者連合会が、その純粋な種を守りながら紅花の生産加工品の技術を継承しています。年に一度の製菓日は厳正なチェックのもと紅餅や紅花などの加工品が決められます。又、安心安全を第一に、使われぬ農薬にも厳しい制限があります。「最上紅花」はまさに山形県の誇るべきブランドなのです。今、その「最上紅花」が、新しい風を起しています。

最盛期には3000キロを超えた生産量は激減し、昨年はたった96キロ。しかし、本物志向の中、需要は250キロを超えます。高額の生産が全っついでいない状況です。

私は、この「最上紅花」を守りたいと考えています。新たな若い手やその支援体制、採算性などは紅花生産には多くの課題が山積みです。今年、紅花は、染料としてだけでなく、観光資源や食文化としても活用され、多額にたかりかねる可能性を持っています。紅花は、最上紅花の文化の宝です。山形県の今日の経済の礎とともなりました。紅花は、歴史と文化に裏づけられた山形県の大地的遺産です。私は、「最上川川の文化的景観」という世界遺産の構成資産に「最上紅花」を登録すべきだと考えています。山形県で、後世に誇らうという機運が芽生えることを願っています。

大内りか事務所

〒990-2171 山形市七橋564
☎(023) 681-5225 ☎FAX (023) 684-8503

発行日/大内増加 平成20年6月

◆ご意見をお聞かせください (FAX・メールでいただければ幸いです。)

http://www.ouchirika.com/

ホームページで日頃の活動を公開していますのでご覧ください。

大内りか 検索